

強い日差しの中、卒業アルバム用の全体写真を撮ります。(10月4日)

修学旅行2日目に宮沢賢治記念館を訪れます。虫の音に誘われ、本棚から詩集を取り出しページをめくりました。

最初に探すのはやはり「雨ニモマケズ 風ニモマケズ」で始まる詩。(実際は昭和6年11月3日の手帳に書きつけられた言葉だそうです) この詩は様々な状況を述べた後、「ソウイフモノニ ワタシハナリタイ」で終わります。

この詩を始めて知ったのはいつ頃のことか。中学生か高校生か今では定かではありませんが、本当に久し振りに黙読しました。

巻末に賢治の年賦や社会背景が簡単に紹介されていました。賢治は花巻農学校に勤めるかわら、地域の農民の支援に当たっていた。その年の秋は東北や北海道が大飢饉に襲われた。「雨ニモマケズ」は、疲労が重なり病に臥せていた賢治が病床で書きつけた言葉であった。これらの事実を知った上で改めて詩を読み返すと、不思議な感動がわいてきます。

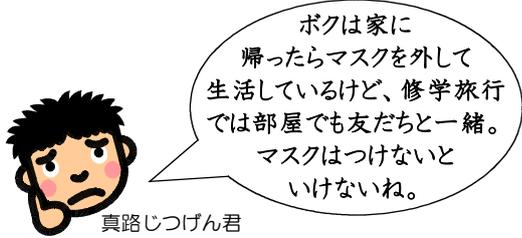
「藤原三代の栄華」が書かれていたのは「おくのほそ道」? 東北岩手を目指す修学旅行を前に、知っておきたいことが次々と出てきます。

## 雨ニモマケズ

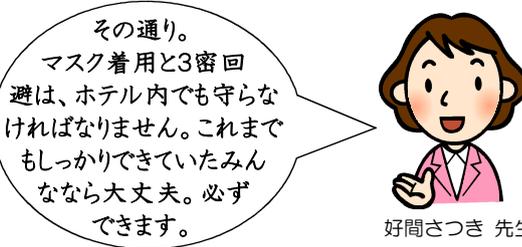
# 修学旅行に向けて(11)

## — 宿舎での過ごし方 —

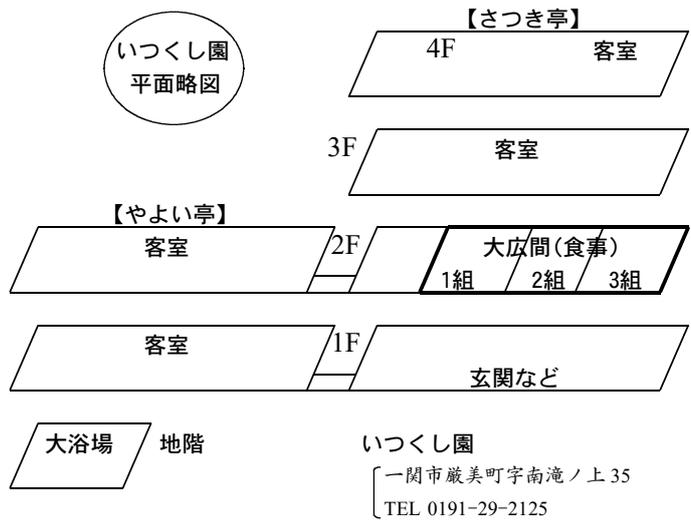
「ホテルは1つの街。部屋から一步出たらそこは公共の場」—— 良く言われることばです。これまでの学校生活や遠足などで培ってきた集団生活やマナーを発揮する集大成となる3日間です。



真路じつげん君



好間さつき 先生



	部屋での過ごし方	入浴の時	食事の時
好間 中生が すべき こと	① 健康管理……朝夕、教師が部屋を周り生徒の検温するとともに、常時健康観察をする。 ② マスク着用……食事や入浴、睡眠時など特別な時以外は、マスクを着用する。 ③ 適切な距離……対面での活動を控え、周りの人との適切な間隔をとる。	④ 場所 ア 女子…部屋風呂で1人ずつ イ 男子…部屋風呂なし。 2箇所の大浴場を使用し、それぞれ6人ずつ時間を区切って使用する。	④ 食事場所…200畳の大広間を3つに仕切り、学級単位で食べる。(夕食・朝食とも) ⑤ 食事のとり方…個別のお膳、一方向を向き黙食をする。
	いつくし園側	① スタッフの健康管理……毎日の健康管理(検温・手洗い徹底・マスク着用など) ② 館内の衛生管理…ア 館内共用部の消毒の強化 イ 施設内換気の徹底 ウ キープディスタンス(食事会場等の席間隔を十分に空けるなど) エ 接客スタッフのマスク着用	

【学年目標】 ■自ら判断し行動し下級生の模範となる生徒 ■自ら学びに取り組む生徒  
 ■お互いの良さを認め、思いやる気持ちを持てる生徒

いわき市立好間中学校 郵便番号 970-1143 福島県いわき市好間町小谷作字竹ノ内1-1  
 電話番号 0246(36)2204 FAX 0246(36)2338